
EXFO 社製

FIP-400 シリーズ

クイックガイド

【 第 5 版 】



- ⚠ 本製品の使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
 - ⚠ 本取扱説明書は英文取扱説明書の一部邦文訳ですが、全てにおいて英文取扱説明書の補助手段としてご使用ください。
 - ⚠ 危険ですので FIP 本体のコネクタポートを直接のぞかないで下さい。レーザー光が発信されますので目に損傷を与える恐れがあります。
-

目次

1. ソフトウェアのインストール	2
1.1. 使用するソフトウェアについて	2
1.2. ソフトウェアのダウンロード	3
1.3. ソフトウェアのアップデート&インストール	6
2. FIP400 シリーズ使用方法	8
2.1. FTB プラットフォームからの起動	8
2.2. PC からの起動	10
2.3. 操作手順	11
2.4. 合否判定しきい値の設定/作成	14
2.5. FIP 本体の機能	18
3. メンテナンス	19

1. ソフトウェアのインストール

FIP-400 シリーズは、各プラットフォーム*1 および PC で使用可能です。しかし FIP-400 シリーズを使用するためにはソフトウェアのインストールまたは、アップデートが必要となります。

*1： 対応プラットフォーム

- FTB シリーズ：FTB-1,FTB-2,FTB-200,FTB-500
- MaxTester700B OTDR シリーズ
- MAX FIP Display

1.1. 使用するソフトウェアについて

FIB-400 シリーズを使用するためには、以下のソフトウェアが必要です。付属の CD-ROM には ConnectorMax2 のソフトウェアが保存されています。

※ 最新バージョンは、EXFO の Web サイトからダウンロードが可能です。

※ **基本的に出荷時には、最新版の Connector Max2 がインストールされています。**

- ConnectorMax2 のバージョン 3.1 以上

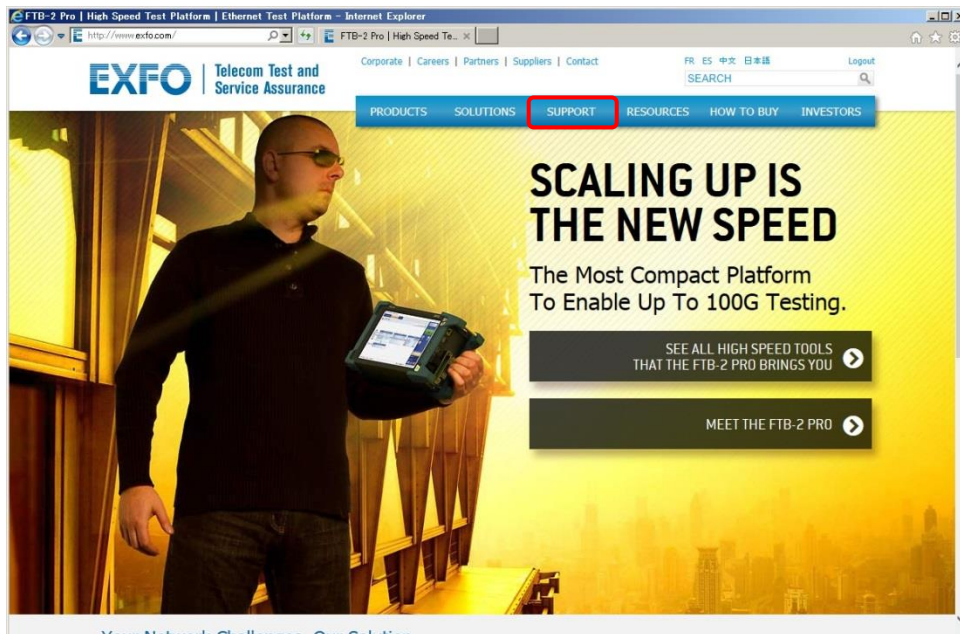
1.2. ソフトウェアのダウンロード

付属のCD-ROMを使用不可能な場合、最新のソフトウェアを使用する場合、プラットフォームで使用する場合にはソフトウェアのダウンロードを行い、使用することが可能です。ソフトウェアのダウンロード手順について以下に示します。

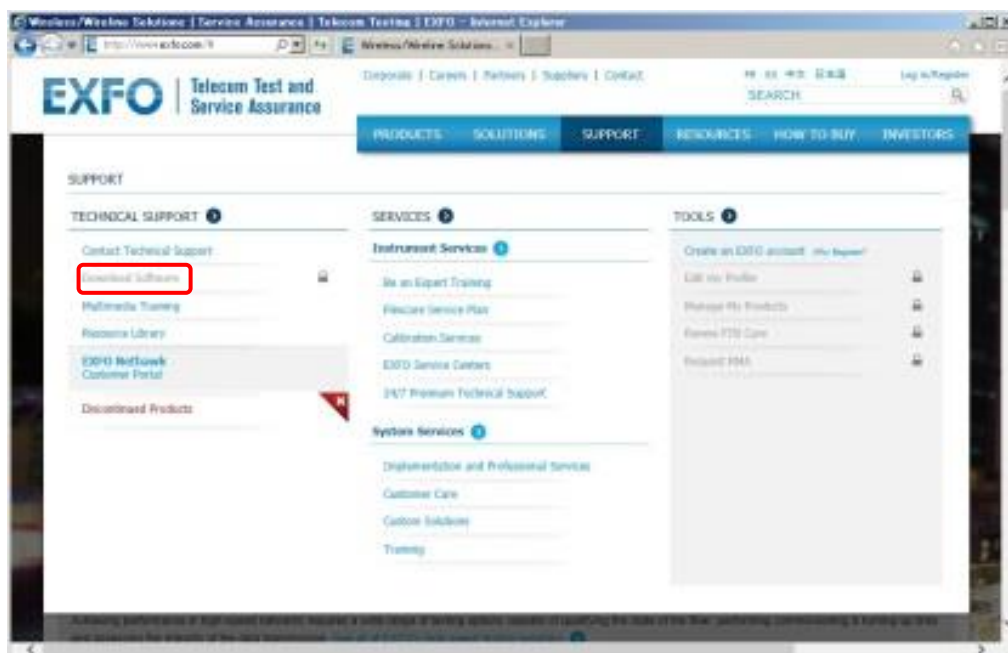
(1) 下記、EXFO 社のホームページにアクセスします。

<http://www.exfo.com/>

(2) EXFO 社のサイト表示後、『**SUPPORT**』をクリックします。(画面は異なる場合があります。)



(3) 『**Download Software**』をクリックします。

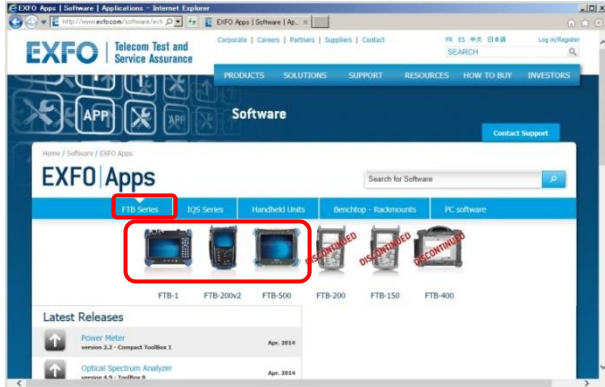


1 ソフトウェアのインストール

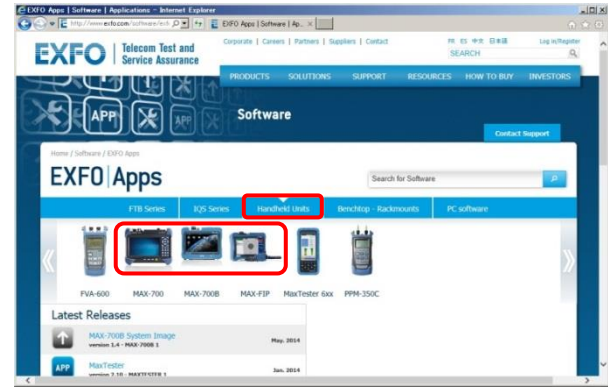
(4) FIP-400 シリーズを使用する筐体を選択します。

- FTB シリーズ：『**FTB Series**』 → 対応するプラットフォーム
- MAX Tester/MAX FIP：『**Handheld Units**』 → 対応するプラットフォーム
- PC：『**PC software**』 → PC

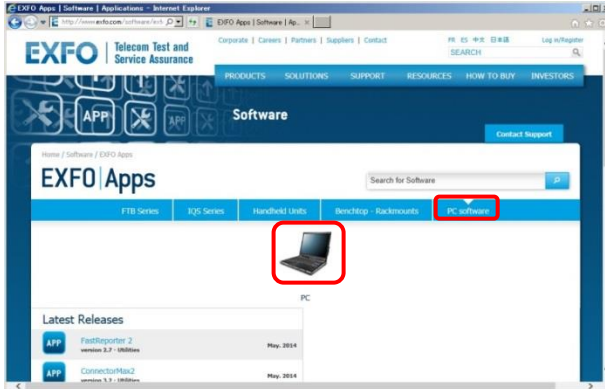
FTB シリーズ



MAX Tester/MAX FIP

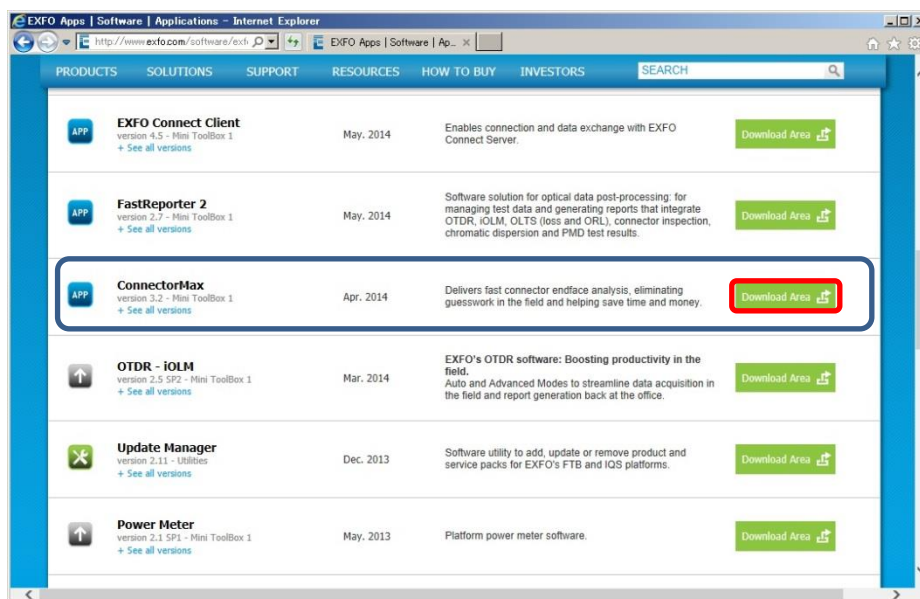


PC



(5) 対応するソフトウェアの『**Download Area**』をクリックします。以下は、「ConnectorMax」の例を示します。

※ インストール可能なソフトウェアが全て表示されます。



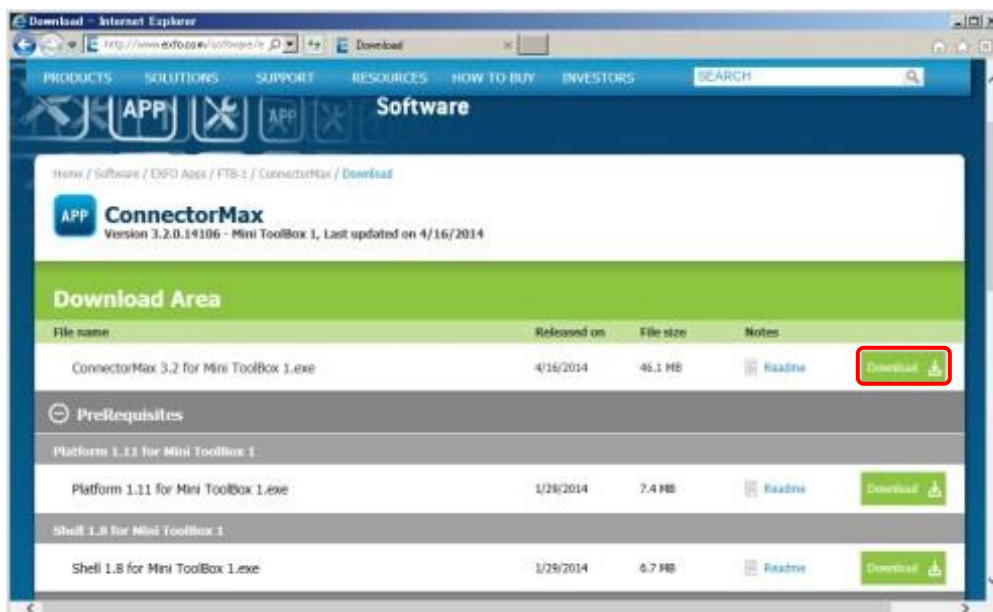
- (6) EXFO のログインアカウントを入力し、『**Login**』をクリックします。EXFO のアカウントに登録されていない場合には、『**REGISTER**』から登録してアカウントを作成します。

※ アカウント登録は無料です。画面の指示に従って、メールアドレス等を入力します。



- (7) 「ConnectorMax」のダウンロード画面が表示されます。『**Download**』をクリックします。

※ 『**Readme**』をクリックするとリリースノートを確認することができます。



- (8) ダウンロードが開始されます。ダウンロード速度、ファイル容量等により、時間が掛かる場合があります。ダウンロード完了後、ソフトウェアのアップデート&インストールを行います。

1.3. ソフトウェアのアップデート&インストール

PCにインストールする場合は、手順を以下に示します。

(1) 対応ソフトウェアのダウンロード完了後、圧縮ファイルの為、ファイルを解凍します。

<ダウンロードファイル>



名前	更新日時	種類	サイズ
 ConnectorMax 3.2 for PC.exe	2014/05/16 10:15	アプリケーション	65,331 KB

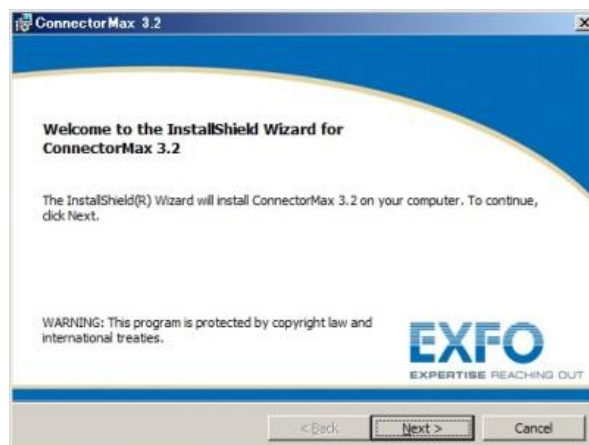


<解凍ファイル>

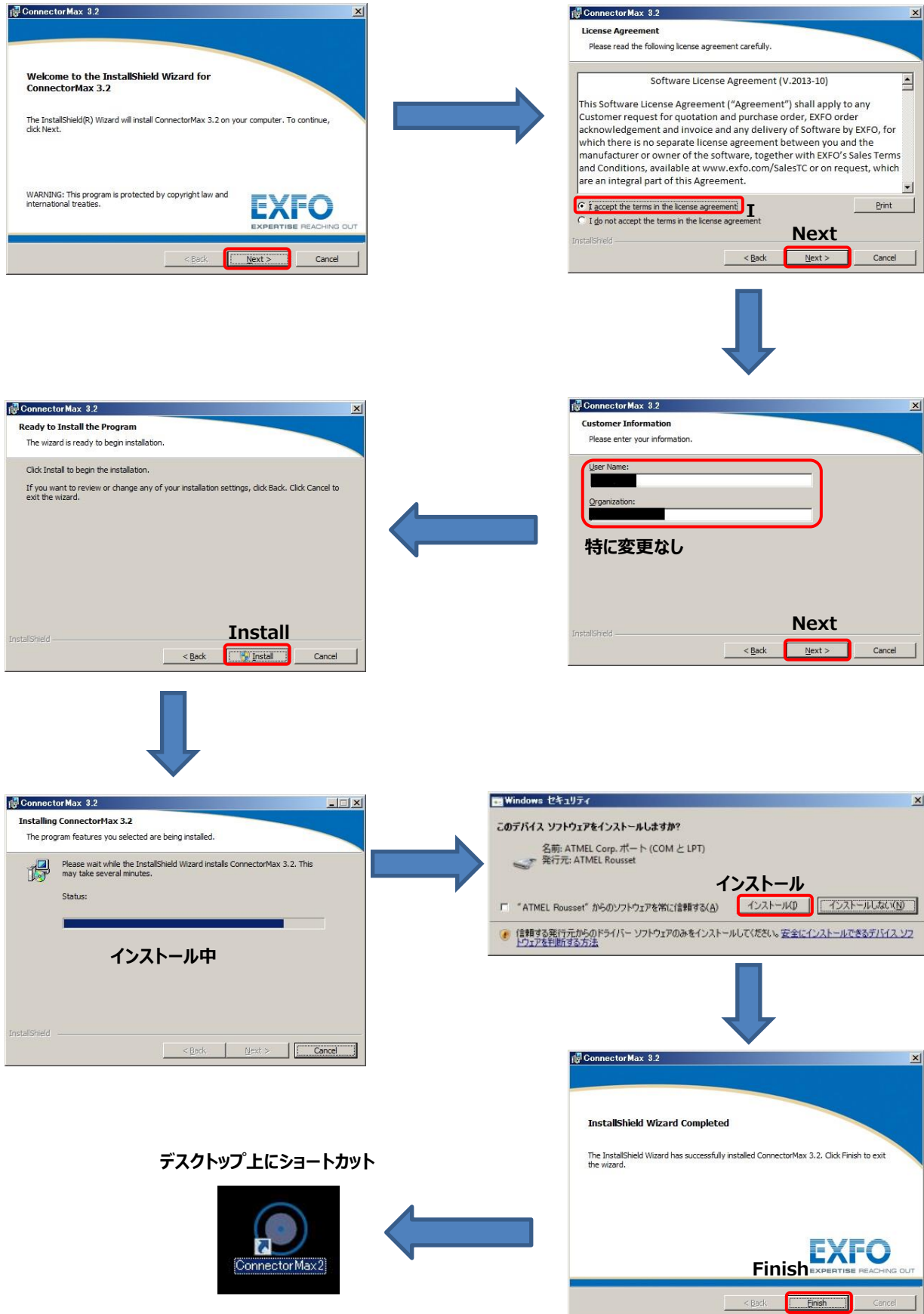
名前	更新日時	種類	サイズ
 ConnectorMax 3.2 - 32 Bit	2014/05/29 9:21	ファイル フォルダー	
 ConnectorMax 3.2 - 64 Bit	2014/05/29 9:21	ファイル フォルダー	

(2) PCの仕様に合ったフォルダー内の「EXFO ConnectorMax 3.2.msi」を実行します。

名前	更新日時	種類	サイズ
 Data1.cab	2014/04/16 12:08	CAB ファイル	30,892 KB
 EXFO ConnectorMax 3.2.msi	2014/04/16 12:08	Windows インストー...	3,152 KB



(3) 画面の指示に従ってインストールを実行します。

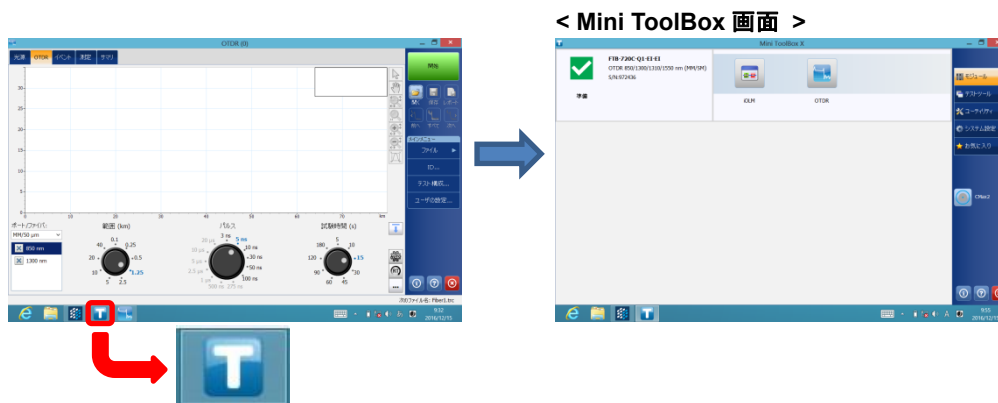


2. FIP400 シリーズ使用方法

FTB プラットフォーム上で使用する場合とパソコン上で場合では、アプリケーションの起動方法が異なります。

2.1. FTB プラットフォームからの起動

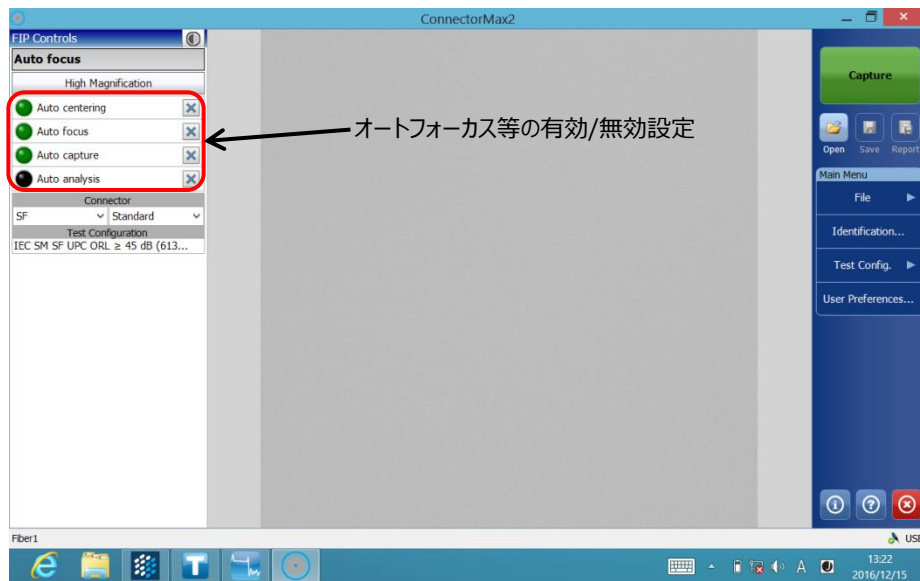
(1) Mini ToolBox 画面を表示させます。



(2) Mini ToolBox 画面右にある『CMax2』アイコンをクリックします。ConnectorMax2(FIP 用アプリケーション)ソフトウェアが起動します。



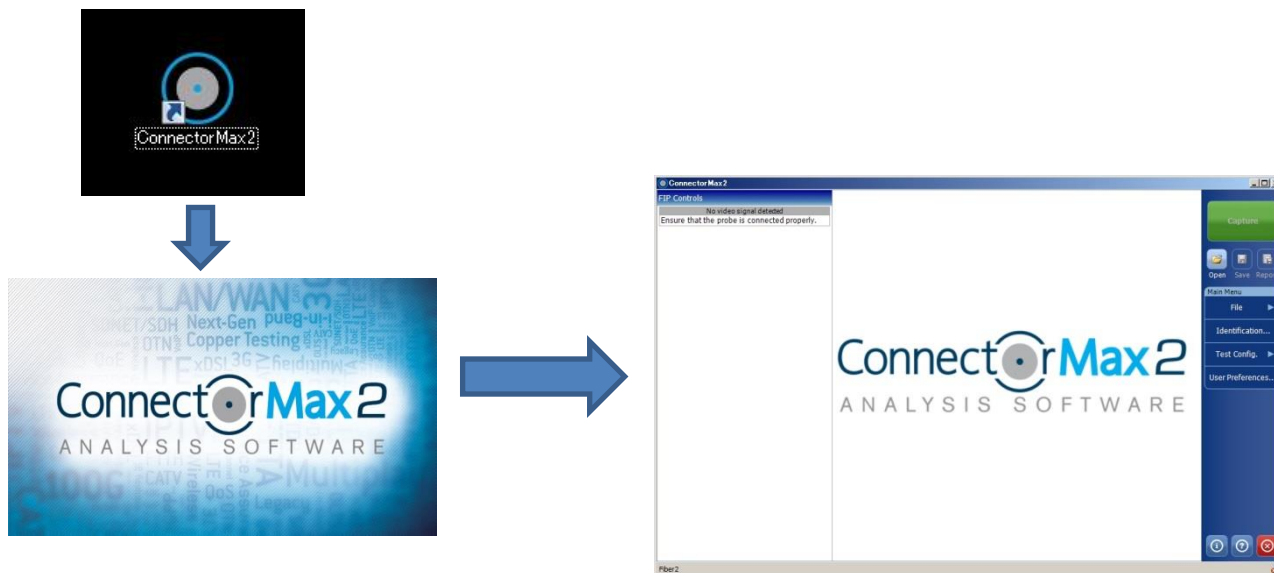
(3) プラットフォームの USB ポートに FIP を接続して使用します。



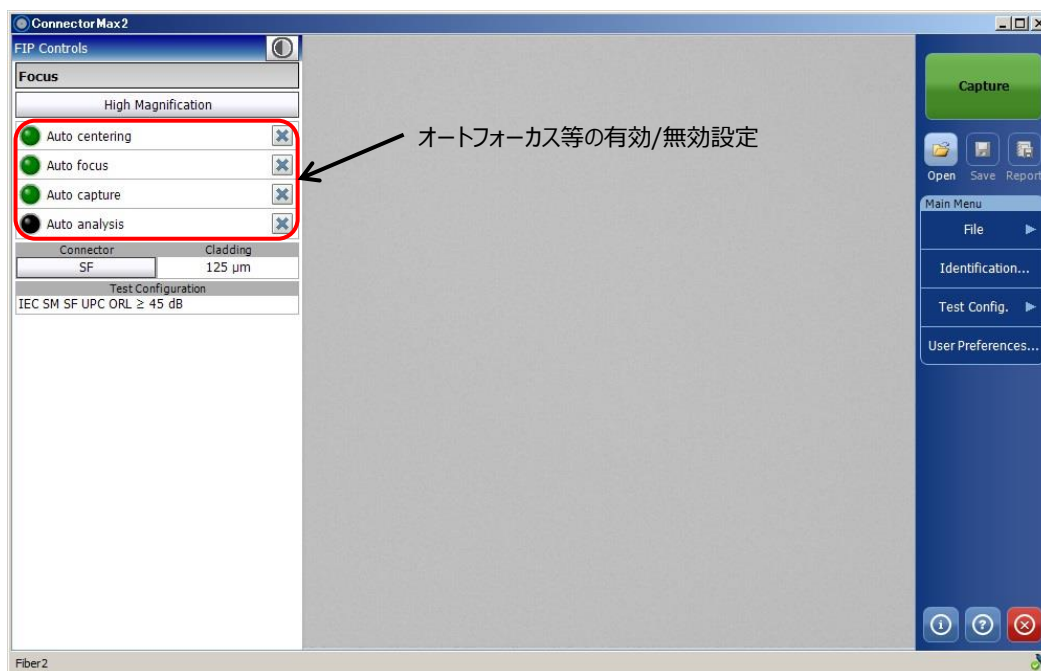
2.2. PC からの起動

- (1) PC にソフトウェアをインストール後、デスクトップ上にショートカットが作成されます。ショートカットから起動させます。(ショートカットが存在しない場合は、『スタート』→『すべてのプログラム』→『EXFO』→『ConnectorMax2』から起動させます。)

デスクトップ上のショートカットアイコン

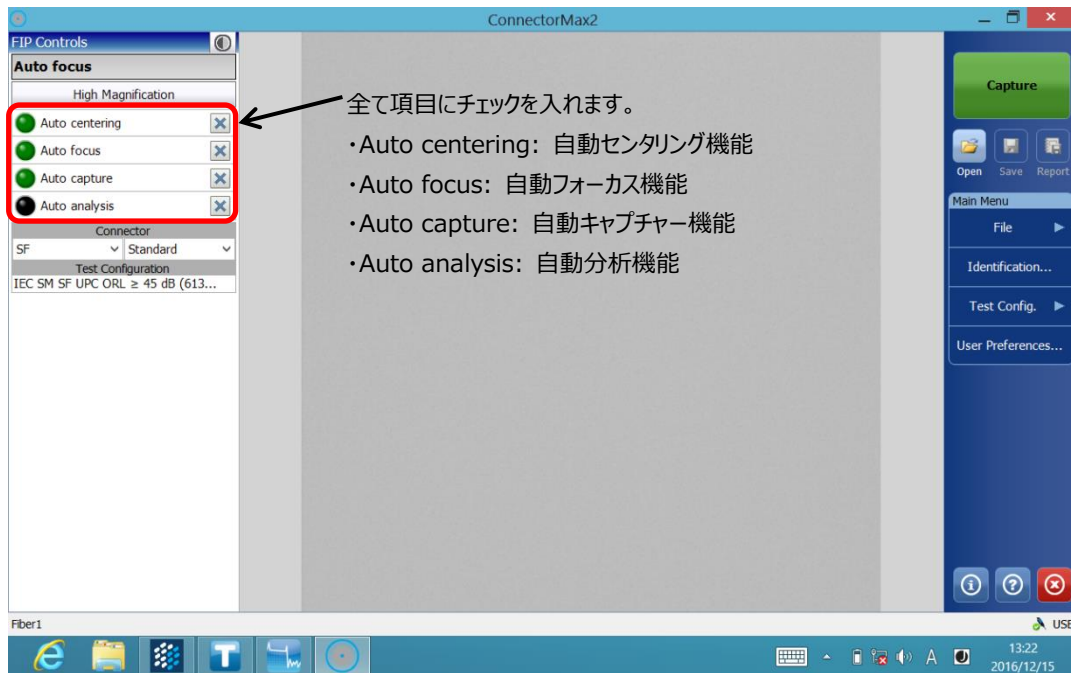


- (2) PC の USB ポートに FIP を接続して使用します。

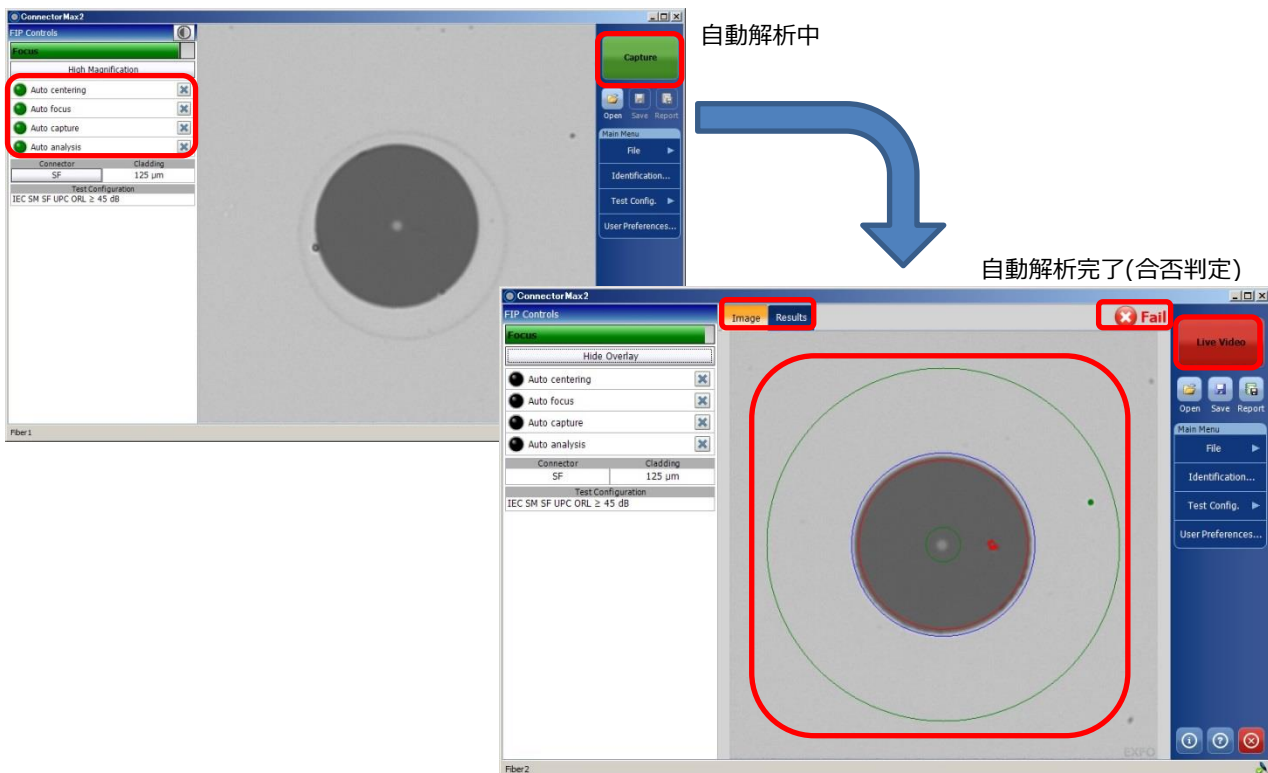


2.3. 操作手順

- (1) FIP プローブをプラットフォームの USB ポートまたは、PC の USB ポートに接続します。接続後、プローブの LED が青く点灯します。
- (2) 『ConnectorMax2』を起動させます。
- (3) 起動後、全ての自動機能にチェックを入れます。(手動操作する場合は対象の項目にチェックを外します。)

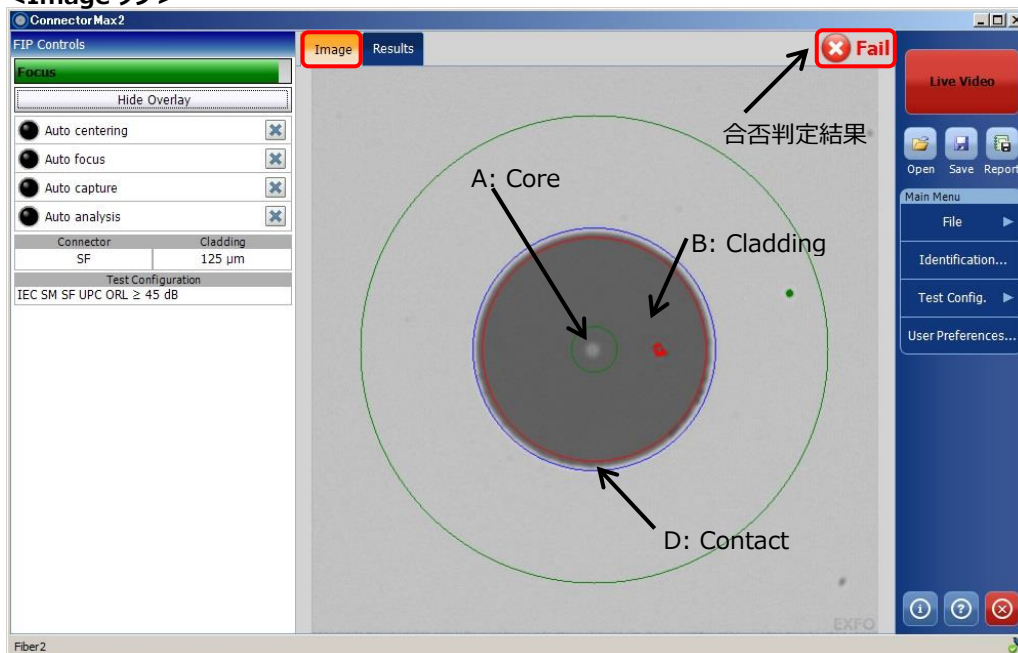


- (4) プローブにファイバーを接続して分析結果を待ちます。(全て自動で行われます。)



(5) 結果は以下のように表示されます。

<Image タブ>



<Results タブ>

Zones	Scratches			Defects		
	Criteria (μm)	Thresholds	Count	Criteria (μm)	Thresholds	Count
A: Core 0-25 μm	0 ≤ size < ∞	0	0	0 ≤ size < ∞	0	0
B: Cladding 25-120 μm	0 ≤ size < 3	Any	0	0 ≤ size < 2	Any	0
	3 ≤ size < ∞	0	0	2 ≤ size < 5	5	0
C: Adhesive 120-130 μm	-	-	-	5 ≤ size < ∞	0	1
D: Contact 130-250 μm	0 ≤ size < ∞	Any	0	0 ≤ size < 10	Any	1
				10 ≤ size < ∞	0	0

再試験する場合は、『Live Video』をクリック

<FIP 本体表示> : FIP 本体でも合否判定結果を確認できます。

緑点灯 : 合格(Pass)



赤点灯 : 不合格(Fail)



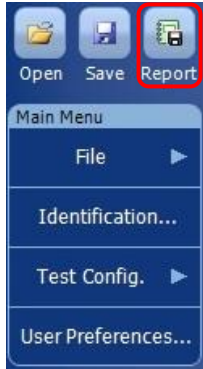
青点灯 : 待機中



(6) 結果をレポートに保存します。2通りの方法で保存可能です。初期保存場所は、以下のフォルダーです。

- PDF、HTML、MHTML 保存： パソコン上で表示可能。
- cmax 形式保存： ConnectorMax ソフトウェア上でのみ表示可能。
- 保存場所（以上 2 つのフォルダーは同じフォルダーです。）
- ¥Libraries ¥Documents ¥CMAx2
- ¥¥C ¥Users ¥Supervisor ¥My Documents ¥CMAx2

<PDF、HTML、MHTML 保存>

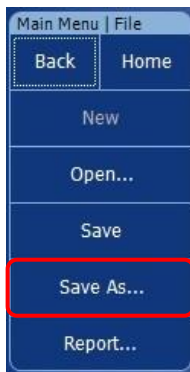
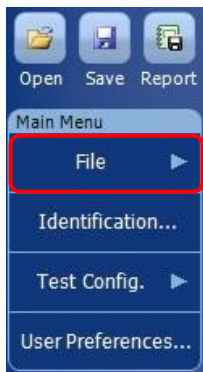


- ファイル名の入力
- ファイル形式の選択
- ※ HTML と MHTML の違い

HTML の場合は、画像が別のフォルダーに保存されます。
MHTML の場合は、1 つのファイルで保存されます。

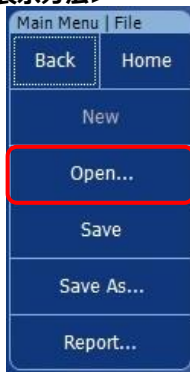
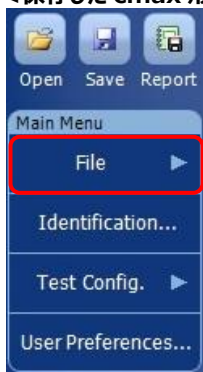
『保存』

<cmax 形式保存>



ファイル名を入力して保存

<保存した cmax 形式ファイルの表示方法>



ファイル選択してロード

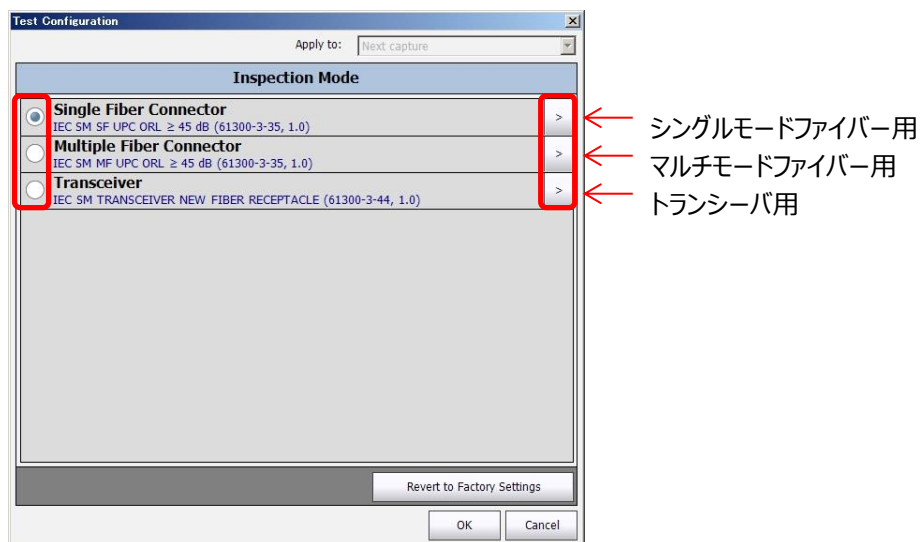
2.4. 合否判定しきい値の設定/作成

端面検査の合否判定しきい値は、ファイバーのタイプ(SM/MM, UPC/APC など)によって変更します。また、カスタマイズすることも可能です。

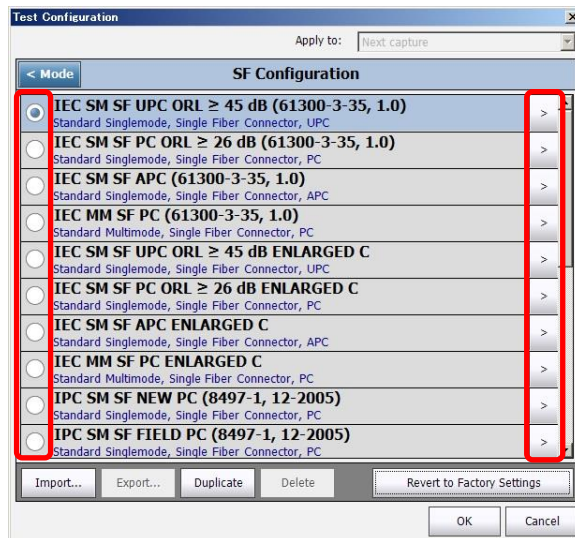
- (1) ConnectorMAX/ConnectorMAX2 起動後、画面右側の Main Menu から Test Config. → FIP を選択します。



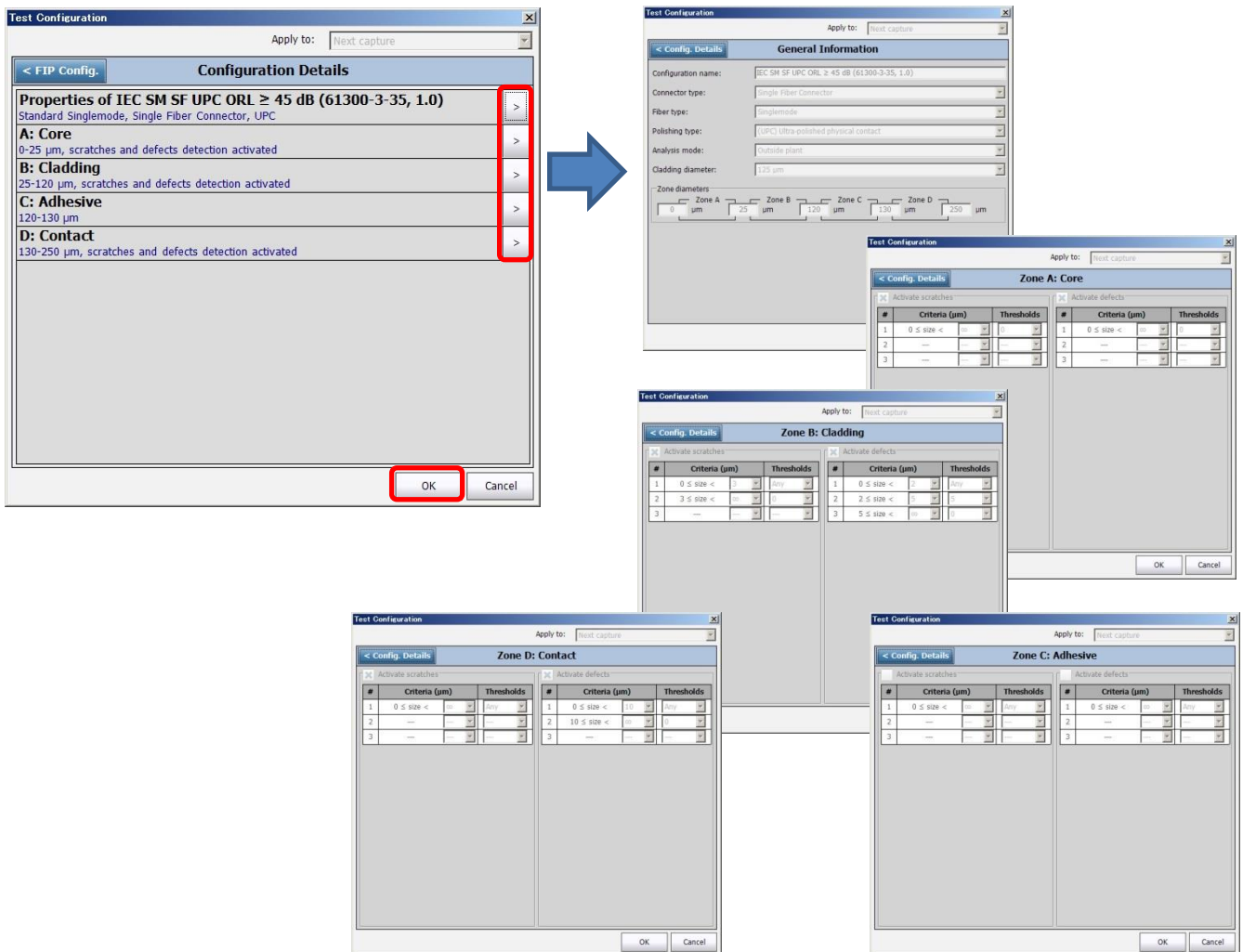
- (2) Inspection Mode 画面でファイバーのタイプを選択して、">"をクリックします。



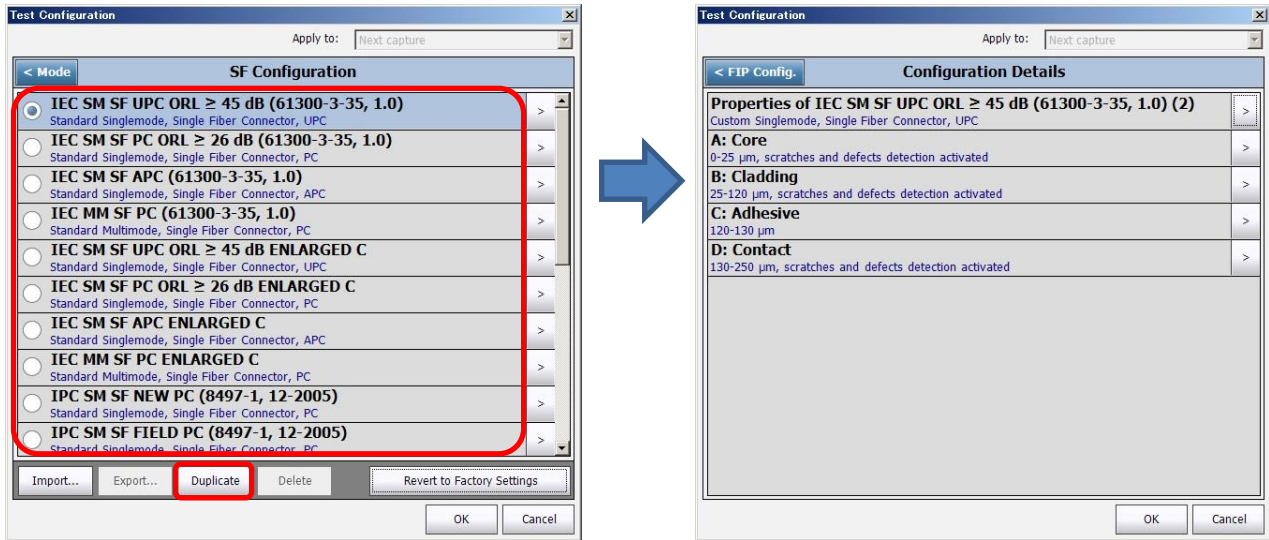
(3) Configuration 画面で合否判定のコンフィグレーションタイプを選択して、“>”をクリックします。



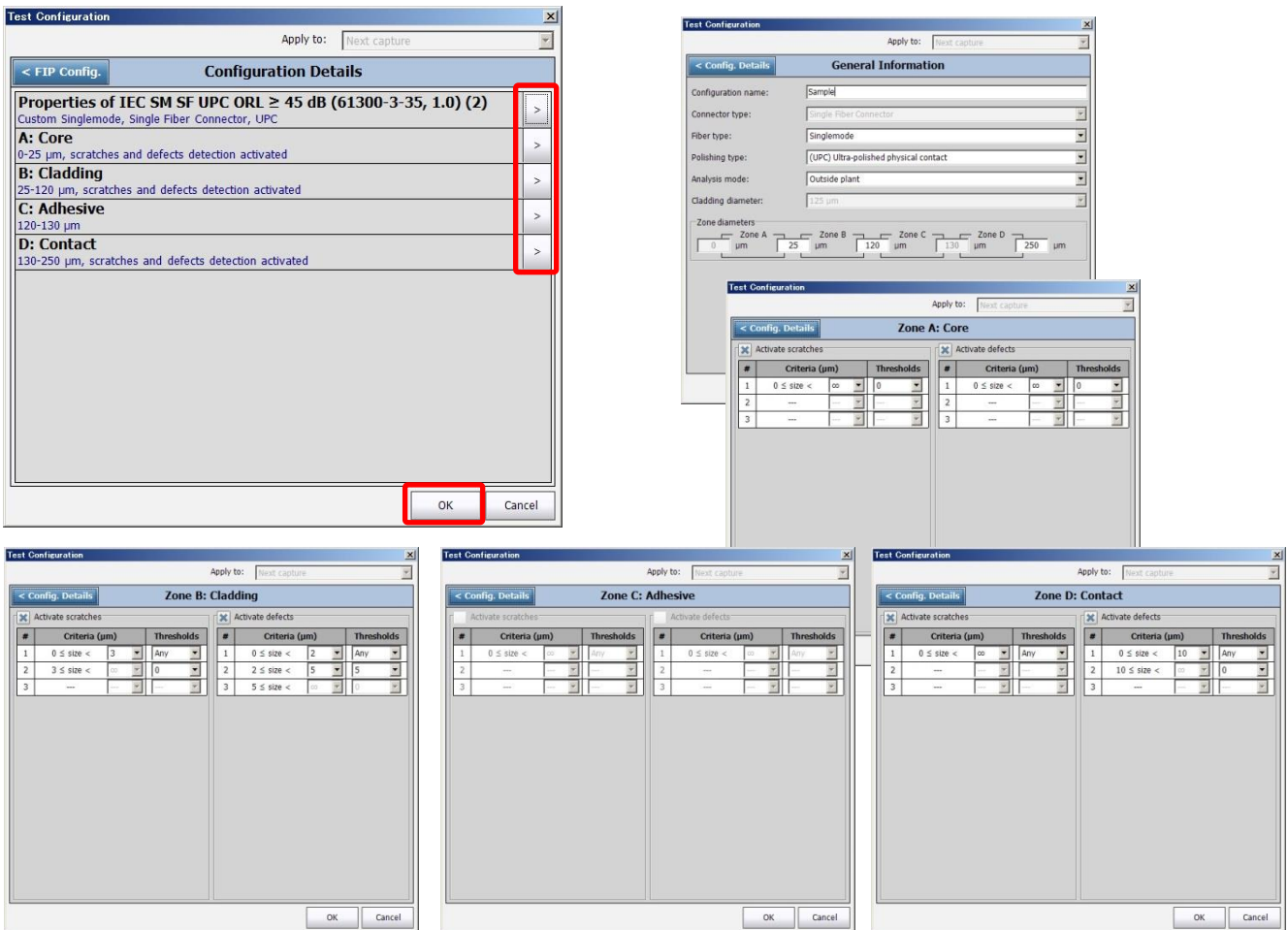
(4) Detail 画面で各判定項目を選択して、“>”をクリックすると合否判定しきい値が確認できます。(変更は、出来ません。) 確認後、OK をクリックして設定を反映させます。



- (5) 合否判定しきい値をカスタマイズする場合は、以下の手順で行います。(3)の Configuration 画面でコンフィグレーションを選択後、画面下の Duplicate をクリックします。選択したコンフィグレーションのコピーが出来上がります。

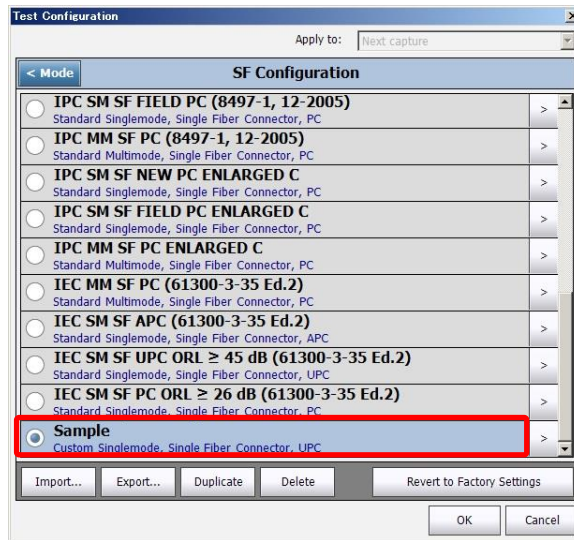


- (6) Detail 画面で項目の">"をクリックすると、しきい値が変更可能です。設定変更後、OK をクリックします。



(7) Configuration 画面に新規に追加されます。削除したい場合は、削除するコンフィグレーションを選択して、画面下の Delete をクリックします。

※ 初期登録されているコンフィグレーションは、削除できません。



2.5. FIP 本体の機能

FIP 本体からも手動でピント調整やキャプチャーを行えます。



3. メンテナンス

使用環境および保管方法の注意事項を以下に示します。

- ホコリが多い場所での使用や保管は避けてください。
- 清掃を行う場合は、布を少し湿らせて清掃してください。
- 直射日光が当たらないクリーンでドライな室温化で保管してください。
- 高温多湿を避けてください。
- 必要のない衝撃や振動を与えないでください。
- 本体が濡れてしまった場合は、電源を切り本体を完全に乾かしてから使用してください。

4. ご使用上の注意

光信号が通信されている光ファイバーを本体に接続しないようにしてください。また、そのようなファイバーの端面を見ることは目にダメージを負う恐れがございますので、決して行わないでください。



WARNING

Do not install or terminate fibers while a light source is active.
Never look directly into a live fiber and ensure that your eyes are protected at all times.

EXFO 【製造元】
EXFO Inc.



【販売元】
原田産業株式会社 AIF チーム
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-2-1 東京海上日動ビル新館 5F
Tel : 03-3213-8391 / Fax : 03-3213-8399
URL : <http://infocom.haradacorp.co.jp>
E-Mail : sales-info@haradacorp.co.jp